



### 担任の先生からひと言

木の枝や木の実などの森林の恵みに触れ、自ら写真立てを作成する木工クラフト教室を通じて、森林資源は様々な活用の仕方があることを知ることができました。また、身近にある森林資源の大切さを再認識するとともに、もっと自分たちの手で活用していきたいという興味・関心を高めることができました。

## 最上地域森の感謝祭2019

10月5日(土)に舟形町の舟形若あゆ温泉で最上地域の森の感謝祭を開催しました。緑環境税を活用し、緑の少年団と舟形町内の各種団体との協働により木製ベンチを作成しました。また、秋田県由利本荘市にある「鳥海山 木のおもちゃ美術館」から県内初となる木のおもちゃの出張展示が行われました。



木製ベンチを作成する緑の少年団



鳥海山 木のおもちゃ美術館 提供のおもちゃで遊ぶ子供



木製ベンチ完成

# 特集 木の枝・木の実とのふれあい

～木材資源の活用と自然環境の保護の大切さを学ぶ～  
(真室川町立真室川北部小学校)

真室川町 農林課  
主事 門脇麻人さん



真室川町は、町の約90%を森林が占める自然豊かな町ですが、生活環境の変化により、子どもたちが森林に触れ合う機会が減ってきています。この木工クラフト教室は、町がやまがた緑環境税を活用して森林や木に親しむことが少なくなった町内の児童に、森林との関わりや木の魅力を学習してもらうことを目的として開催しています。今後は学校林での自然学習会等を開催し、地域の森林に対する理解や愛着を深めていってほしいと考えています。



講師  
山形県遊学の森 木もれび館  
館長 三上重幸さん

